

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、8～18℃台を示し、やや低めでした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マイワシなどが1日1統当たり26トンの水揚げで、前週の2倍（前年を上回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり27トンの水揚げで、前週の2.3倍（前年並み）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり5kgの水揚げで前週の56%（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり65kgの水揚げ（前年を下回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり5kgの水揚げで、前週の63%（前年を下回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、ブリなどが1日1統当たり97kgの水揚げ。対馬西岸地区では、ヤリイカなどが1日1統当たり32kgの水揚げ。対馬東岸地区では、マアジなどが1日1統当たり109kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、カマスなどが1日当たり205kgの水揚げで、前週の2.5倍（前年並み）。野母地区では、マアジが1日1統当たり11kgの水揚げ（前年を下回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（1/15～1/20の6日間）の沖合イカ釣（船凍船）は、佐渡沖で操業。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、博多、網代、佐渡で僅か水揚げあり。

鳥取県西部（沖合船）入港船なし。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>